学校番号	３０２

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新　言語文化」　（三省堂）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・古典から現代小説の様々な文章を、「読む能力」に加え、自己の思考を表現するための「話す・聞く能力」と「書く能力」の基礎的な部分を身に付けます。
・授業プリントやノートは黒板を写すだけではなく、自分で気づいたことや、人の発言内容もメモしていきましょう。
・定期考査は、年に５回あります。計画的に学習に取り組みましょう。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	入門 読書の意義について考える ［教材］ 食器棚の奥で	a:・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[　読　]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解したり、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業姿勢 ワークシート 振り返りシート
	言語文化について考える古文の世界へ ［教材］ 「児のそら寝」(宇治拾遺物語)	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b:作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解したり、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業姿勢 ワークシート 振り返りシート
2	人物像や心情について考える ［教材］ 待ち伏せ	a:・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 b[　読　]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解したり、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業姿勢 ワークシート 振り返りシート
	言語文化としての韻文について考える ［教材］ 和歌十首　小倉百人一首より	a:本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[　読　]:作品や文章の成立した作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解したり、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業姿勢 ワークシート 振り返りシート

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	構成や展開について考える ［教材］ 羅生門	a:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 b[読]:自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業姿勢 ワークシート 振り返りシート
3	言語文化の継承と創造について考える ［教材］ 伊勢物語 芥川/筒井筒	a:本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 b[読]:作品や文章の成立した作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:本歌取りや見立てなどの我が本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解したり、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業姿勢 ワークシート 振り返りシート
	言語文化について考える ［教材］ 故事二編　虎の威を借る	a: 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]:・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業姿勢 ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　古典４０，近現代２０　）時間